

韓国

尹東柱の詩を読む 2012

- 期間／9月15日(土)
- 会場／福岡市立婦人会館 視聴覚室A
- 主催／福岡・尹東柱の詩を読む会

「空と風と星と詩」は、韓国のみならず、国や時代を越えて多くの人をひきつける詩集の一つ。その中から、1937年8月に書かれた「悲哀」を読み解いた。参加者からは、「苛酷な日本の植民地支配の中で生きる朝鮮の人たちに、詩を通して癒しを与えたいと願った尹東柱の孤高の志を感じた」などの感想が聞かれた。



アジア塾 「アジアの中のジェンダー (性差)」

- 期間／10月4日(木)、11日(木)、18日(木)
- 会場／アクロス福岡・セミナー室2
- 主催／筑紫女学園大学文化学部アジア文化学科

今年の講座は、現代中国、韓国、インド社会をジェンダー(性差)で読み解き、アジア理解をさらに深化させることを目的として行われた。中国の女子教育、韓国の伝統儀礼や徴兵制度と男性性、インドでは男性領域であった地域政治に参加する女性たちを通して、伝統や近代的制度により枠づけられる性差と、その変化のあり方を紹介した。



第339回国連講演会 「太平洋の島々と日本の関係」

- 期間／9月27日(木)
- 会場／よみうりプラザ
- 主催／日本国際連合協会福岡県本部

講師：外務省アジア大洋州局大洋州課地域調整官 寺澤元一氏
2012年5月に太平洋の14の国と地域の代表を迎えた第6回太平洋島サミットで採択された沖繩絆宣言の意義と日本のODAの太平洋島嶼国の支援について説明。ODAが日本の中小企業に還元される海外展開支援を九州の企業も経済発展のために活用してもらいたいと話された。



ネパール連邦共和国

講演会7カ国語で話そう。 「アジアから世界へ！ 多言語で広がる出会いと感動!!」

- 期間／10月5日(金)～11月18日(日)
- 会場／福岡市内市民センター等
- 主催／言語交流研究所・ヒップファミリークラブ

人間が本来持っている言語獲得の能力を生かせる「ことばの環境」の中だと多言語を自然に話せるようになる、ということを経験をふまえてお話した。相手のことばを知ることによって相手の国、歴史、文化に興味を湧き、国境を越えた「同じ人間」としての交流が自然に行われるということも感じていただけた講演会となった。



七隈史学会 第14回大会

- 期間／9月29日(土)～9月30日(日)
- 会場／福岡大学
- 主催／七隈史学会
(福岡大学人文学部歴史学科)

初日は日本史・外国史の研究報告と井野瀬久美恵先生の講演。講演のテーマは「謝罪のポリティクス— 奴隷貿易廃止200周年とは何だったのか?」であり、活発な議論が行われた。2日目は考古学と外国史学生有志の報告が行われ、どの部会においても活発な質疑応答が行われた。



トルコ

第4回トルコ文化講座 「現代トルコ文学の世界～ 東西文明の狭間で創造されたもの」

- 期間／11月10日(土)
- 会場／福岡女学院天神サテライト
- 主催／福岡トルコ友好協会

大阪大学の勝田茂教授に、トルコ共和国誕生前後の作家から、ノーベル賞作家のオルハン・パムクまで、トルコ文学の流れを解説いただいた。トルコ文学を代表する作家の主要作品をプロフィールとともに紹介していただき、小説の中に出てくるちょっとした表現や台詞からトルコ社会の変化を垣間見ることができた貴重な機会となった。



展覧会 & 展示

Exhibition

アジアの女性アーティスト展 アジアをつなぐ
一境界を生きる女たち 1984-2012

- 期間／9月1日(土)～10月21日(日)
- 会場／福岡アジア美術館
- 主催／アジアの女性アーティスト展
福岡実行委員会

本展は、アジアの女性アーティストに焦点を絞った日本初の大規模な展覧会で、福岡アジア美術館の所蔵品をはじめ、国内外から100点を超す作品を展示した。会期中には、国内外のアーティストを招いて、トークやワークショップ、パフォーマンスなどの関連イベントも開催した。



韓国

日韓児童絵画交流展

- 期間／9月19日(水)～23日(日)
- 会場／福岡市役所1階市民ロビー
- 主催／日韓女性親善協会福岡支部、
福岡市

日韓両国の小学生の絵画を通してお互いの理解を深めて欲しいとの願いを込めて開催している絵画交流展。絵画を鑑賞した子ども達からは、両国の生活や伝統・文化の違いに驚きの様子が窺える。アジアマンズと共に始まったこの絵画交流展も23回目を数え、着実な歩みをつけている。



日本

福岡市博物館特別企画展
「能のかたち NIPPON 美の玉手箱」

- 期間／9月15日(土)～11月11日(日)
- 会場／福岡市博物館・特別展示室
- 主催／能のかたち展実行委員会

日本の伝統芸能、ユネスコ無形文化遺産である能楽。同展覧会では重要文化財を含む能面約170点と、日本の染織技術の結晶と言える能装束を一堂に集め、能楽を彩る“かたち”と、能を支えた人々の歴史を紹介した。また、来館者に能楽を身近に感じてもらうと、グランドホールで“能”のパフォーマンスなどを披露した。

「福岡魂(ふくおかだましい)」
vol.9

- 期間／9月28日(金)
- 会場／ソラリアプラザビル1Fゼファ
- 主催／アートステーション
(art-station)

福岡在住・出身の若手アーティストによる企画展。(アート作品の展示、ライブペイントなど)「自分達の住む福岡からアジア、そして世界へ文化・情報を発信」をテーマに新しいアートの流れを作るべく来て、見て、参加して、楽しいイベントを展開した。福岡在住外国人(アジアを含む)を合わせて36名のアーティストが参加した。



ネパール連邦共和国

ネパール展

- 期間／9月17日(月・祝)～9月23日(日)
- 会場／SMBコンシューマーファイナンス㈱
天神お客様サービスプラザイベントスペース
- 主催／福岡・ネパールソサエティー

ネパールの文化や風土を知ってもらい、交流を深めるため展示会を開催。内容は風景写真をメインとして、仏具や楽器をはじめとした民芸品の展示と、プロジェクターを使用したネパールの観光地や風景の放映。民族衣装や楽器には多くの来場者が興味深そうに手に取られ、身近にネパールの文化を感じてもらった。期間中の来場者は約200人だった。



朝鮮半島

南北コリアと
福岡のともだち展2012

- 期間／11月5日(月)～11月11日(日)
- 会場／アクロス福岡1F
コミュニケーションエリア
- 主催／南北コリアと福岡のともだち展実行委員会

東アジアの未来をともに築き上げる日本人や在日コリアン、そして朝鮮半島の子もたちの絵を紹介する交流展。今回は129点を展示。「ともだちといっしょに行ってみたいところ」をテーマに描かれた子どもたちの思いがアクロス福岡で出会い、友情の輪を広げた。会場で集まったメッセージカードは会期終了後、作者あてに送られた。

